

備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

施 策 名 (小項目)	工業	コード 04-02-03	作 役	商工観光課長
			成 氏	中島 和久
			者 電	64-1832
			このシート作成に要した時間	2.0 時間

この施策の アピール ポイント	市の主要産業である耐火物の研究施設「岡山セラミックスセンター」への支援を行っていること。
-----------------------	--

この施策の 平成24年度の 施政方針	岡山セラミックスセンターを支援することで、地場産業の育成支援に努めてまいります。また、備前商工会議所、備前東商工会等との連携を密に中小企業の安定経営支援のための融資斡旋事業の推進を図ってまいります。
--------------------------	---

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標（大項目）	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	基本施策（中項目）	起業と創造が支えるまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	本市の地場産業である耐火物関係事業所や中小企業に対し、高度な技術の振興対策や中小企業への金融対策を支援し、安定経営を支援することを目的とする。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市の工業の中心は耐火物製造業で、その生産量は、全国総生産の3割を占めており、関連業種を含めると、本市の基幹産業として地域経済を支えてきた。しかし、昭和50年代に入り、耐火物産業全般が不況に陥ったことから、官民挙げて製品の高品質化・多角化に取り組んでいる。本市における企業集積度は高く、可住地に占める工業用地の割合も高くなっている。今後は、未利用地の有効活用、生産基盤の整備に努めるとともに、中小企業の体質改善に重点を置いた工業の健全な発展を図る必要がある。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	既存企業の拡張 適応業種(岡山セラミックスセンター)の育成 起業の支援 中小企業の育成 特定業種(中小企業者)への支援 ・ ・	

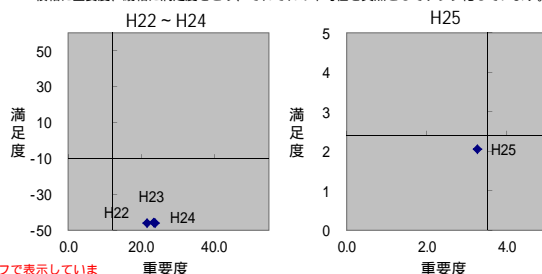
市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H22	H23	H24	H25
重要度(%)	21.6	23.4	23.8	3.3
満足度(%)	- 45.9	- 45.6	- 46.0	2.1

高 介 満 足 度 低	＜見直し領域＞ その施策や事業が必要か否かの検討が必要	＜維持領域＞ 現状の方向を継続	平均
	＜検討領域＞ その施策や事業の存続の検討が必要	＜強化領域＞ 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う	

H25から数値の採取方法を変更したため、別グラフで表示しています

横軸に重要度、縦軸に満足度とり、それぞれの平均値を交点としてグラフ化しています。



調査結果に対するコメント、市民の反応等	この政策に対する市民の重要度は高く、満足度はやや低い。工業に対する意見はほとんどないが、今の産業の中から新産業の創出を考えるべきである。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名		単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値
			H22	H23			
成果指標	岡山セラミックスセンターにおける検査件数	目標	件	10,000	10,000	10,000	H25 10,000
		実績	件	10,703	12,187	12,488	H28 10,000
		達成率	%	107.0	121.9	124.9	- -
		ベンチマーク					- -
参考指標	商工振興融資及びセーフティネット取扱件数	目標	件	100	100	100	H25 50
		実績	件	183	69	59	H28 100
		達成率	%	183.0	69.0	59.0	- -
		ベンチマーク					- -
参考指標		目標					H25 -
		実績					H28 -
		達成率	%				- -
		ベンチマーク					- -
参考指標		目標					H25 -
		実績					H28 -
		達成率	%				- -
		ベンチマーク					- -

目標達成に必要な新規事業（裏面 施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
国	セーフティネット認定事業	中小企業者の経営安定等のための融資の円滑化を支援する
商工観光課	商業団体運営事業、企業誘致奨励金事業	新規、事業の拡大等市内への立地を促進する

施策の評価

項 目		評価	5：非常に高い 4：高い 3：どちらともいえない 2：低い 1：非常に低い
			判 断 理 由 （なぜ、そのランクと評価したのか）
1	< 成果指標の妥当性 > 施策の目的・成果を表現しているか？	3	岡山セラミックスセンターは、耐火物等の検査機関、研究開発機関として地場産業の発展に大きく貢献しており、成果指標の岡山セラミックスセンターにおける検査件数は概ね妥当である。
2	< 事業構成の適当性 > 手段は最適か？	4	地場産業の育成、活性化を図る上で、岡山セラミックスセンター補助や中小企業に対する商工振興融資斡旋等、事業構成はほぼ適正である。
3	< 施策の有効性 > 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは？	3	地場産業の育成、活性化を図る上で、岡山セラミックスセンター補助や中小企業に対する商工振興融資斡旋等は、重要であり、事業施策は有効である。
進行年度(H25年度)の取組内容 (課題解決状況)		岡山セラミックスセンターの有効活用を推進することで、地場産業の育成支援に努める。商工会議所、商工会等との連携を図り、中小企業の経営支援のための融資斡旋事業の活用を図る。	
翌年度(H26年度)の取組目標		岡山セラミックスセンターへの支援をすることで、地場産業の育成、活性化を推進する。商工会議所、商工会等を通じて、中小企業の経営の安定化のための融資斡旋事業の活用を図る。	
二次評価者コメント		セラミックスセンター等の支援・活用を図り、地場産業の振興に努めてください。	
役職 産業部長 氏名 高橋昌弘		また、中小企業については、国、県等と連携を図りながら経営等の支援を進めてください。	
		基本施策への 貢献度	
		3 中立	

•

•